



2024年4月18日

各位

会社名 HENNGE株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小椋 一宏  
(証券コード：4475 東証グロース)  
問合せ先 執行役員 小林 遼  
(TEL. 03-6415-3660)

## HENNGE Oneの新製品等に関するお知らせ

当社は、2024年4月18日開催の自社イベント「HENNGE Unveiled」において、新製品「HENNGE File DLP」を提供すること等を発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 新製品提供の背景

当社は創業以来「テクノロジーの解放で世の中を変えていく」を理念に、テクノロジーと現実の間のギャップを埋める独自のサービスを開発・販売してまいりました。その中でも主力サービスであるHENNGE Oneは、複数のクラウドサービスのID/パスワード統合及びアクセス制御による不正アクセス対策機能並びに脱PPAP対応策、標的型攻撃対策及びメール誤送信/監査対応など、幅広いメールセキュリティ機能を搭載し、働く環境の「安全性」と「利便性」の両面を支えるクラウドセキュリティサービスとして展開してまいりました。

各企業が迅速なセキュリティ対策の拡充を進める一方で、コミュニケーションの多様化による情報漏洩リスクは高まっており、昨今では外部攻撃による情報漏洩だけに留まらず、企業内部における不注意によるセキュリティインシデント等も増加しております。

こうした背景を踏まえ、今般、さらに幅広く企業のセキュリティ対策を支援するため、これまでの知見やノウハウを活かし、新たに「HENNGE File DLP」の提供を開始することといたしました。

#### 2. 新製品の概要

当社は、あらかじめ全てに制限をかけることによりリスクを回避するのではなく、信頼のもとに一定の自由度を保った運用を行いデータの動きを可視化していくことで、正しくリスクを把握していくことが、テクノロジーの活用に必要なだと考えております。データの可視化とリスクの把握を通じて、リスクの予防や回避策を設定し、そしてそれらをシステムによって自動運用することにより、セキュリティの充実が図れる機能を提供してまいりました。このサイクルを「HENNGE File DLP」を通じ、ファイル共有においても活用するべく、新たな製品として提供することといたしました。

#### 3. HENNGE Oneの今後について

これまで当社は、シングルサインオンやアクセス制御を中核とする「IDP Edition」と、メールセキュリティを実現する「E-Mail Security Edition」という2つのエディションを提供してまいりました。

しかしながら昨今、企業は、利用するSaaSの増加にともなう管理負担の増加に加え、SaaSの設定ミスによる情報漏洩や標的型攻撃などといった新たなセキュリティリスクの増大にも直面しています。そこで当社は、2024年4月18日以降、HENNGE Oneのラインナップを「Identity Edition」、「DLP Edition」及び「Cybersecurity Edition」の3つに再編し、より企業でのクラウド利用時の課題解決に寄与してまいります。

なお、当再編とともにHENNGE Oneの上位Suite Planである「HENNGE One Pro」の拡充を進めるべく、これに先駆けて「HENNGE Cloud Protection (メールを起因とした標的型攻撃などの脅威に対応するサービス)」や、「tadrill (標的型攻撃メール訓練サービス)」を当Suite Planに新たに取り入れていく予定です。

HENNGEは今後も、時代の変化に合わせ、テクノロジーを活用するための最適なソリューションを提供してまいります。

4. 新製品の提供開始時期

2024年9月期内の提供に向けて準備中

5. 2024年9月期以降の見通し

2024年9月期の当社業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、中期的な企業価値の向上に資するものと考えております。なお、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上